

令和元年度 第2回 大阪府立東住吉総合高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和元年9月19日（木）14：00～16：00

場所：大阪府立東住吉総合高等学校 TRY ルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 出席委員紹介

4. 授業見学

- ・世界史A            2－6            (全系列)
- ・英語演習           3－2            (英数系列)
- ・住環境実習        衛生設備室    (住環境系列)
- ・住環境実習        CAD室          (住環境系列)

5. 協議

(1) 保護者からの意見書提出状況について：特になし

(2) 授業改善に向けてのこれまでの取組について：教頭から説明

- ・平成26年度から平成29年度にかけて、大阪府教育センター主催の『パッケージ研修』を実施。前年よりステップアップした研修により、多くの先生方にとっても、授業改善のきっかけとなった。
- ・平成30年度は『パッケージ研修』は行っていないが『授業改善プロジェクトチーム』を立ち上げ、若い先生方を中心に授業改善について検討を重ねた。
- ・学校教育自己診断結果では生徒の肯定感が少しずつ上昇している。
- ・令和元年度は新しい学習指導要領に対応した「主体的・対話的で深い学び」のための『パッケージ研修支援Ⅰ』を活用。

7月11日の「パッケージ研修支援Ⅰ」全体会では授業での課題について意見交換を行い、各教科でどのような取り組みができるのか（自己肯定感を高める取り組みなど）協議を行った。後期の授業で、各教科でまとめた内容を意識した各教員による授業実践を行い、11月に研究授業、12月に研究協議、年度末に総括を行う予定。

(3) 「授業見学意見交換」

☆授業実践者からの意見

- ・英語演習ではスモールステップで少しずつレベルを上げている。レベルが高くないところからスタートすることで、最初に高得点をとらせることができている。そのことが「嬉しい」「楽しい」という気持ちにつながっている。
- ・今はテストのレベルが上がっているが「頑張ろう」という意識が見られる。まずは、勉強は楽しいと思ってもらおうよう試行錯誤を重ねている。

☆各委員からの感想・意見

- ・生徒が楽しく授業を受けているという印象。教師もそれを上手く引っ張っている。
- ・生徒の意欲を上手く引き出していた。
- ・以前は教師の一方的な授業の印象が強かった。今回は生徒がグループになって教師のいうことも聞いて、生徒が積極的に授業に参加している印象であった。
- ・ここ何年間で学校全体が進歩している。なお一層取り組んで欲しい。
- ・見学した授業をもっと聞きたいという印象であった。教師の授業展開が上手い。
- ・理解できないことを、その場で理解させる授業の進め方で、生徒の自信につながっている。もう一度、授業を受けてみたいと思った。
- ・生徒が授業に意欲的に参加しており、自分も一緒になって最後まで授業を聞きたいと思った。先生方も教材研究等をよくされていて、生徒の為によく頑張っておられる。
- ・生徒が明るい。全員がひとつの目標に向かってやっている。授業に参加していない生徒がいない。教科書等の教材も全員が持ってきている。
- ・住環境実習の衛生設備室で冷房が入っていないことや、椅子なども古いものがあり、施設面での充実の必要性を感じる。中学でも特別教室での空調設備が整ってなくて困っている。
- ・教室のカーテンの汚れもなく、非常に教室がきれいであった。
- ・生徒の授業への参加態度が非常に良かった。

(4) 今後の授業のあり方、授業改善に向けた各教員からの意見

- ・徐々に対話的な授業が求められるようになってきている。一方通行の授業でもよいところはある。教師が追求し続けることが大切。探し求める姿勢が求められている。
- ・学力をつけることも大切であるが、課題を解決することで「生きる力」をつけさせることも大切。これからの社会での過ごし方等につなげるような取り組みも行っている。
- ・若い先生方が授業改善プロジェクトチームを経験し、次の世代の先生方が引き継いでいる。継続して授業改善に向けた取り組みを行っており、前向きに取り組んでいる学校だと思った。

(5) その他、施設設備、衛生、環境面等の改善について

- ・生徒たちの環境改善について、何かひとつでも前向きに検討をお願いしたい。生理的欲求をみたくトイレと食堂について改修してほしいという意見もある。
- ・大阪府の予算状況からは難しいと思うが、できる範囲で生徒の学習環境を整えて欲しい。
- ・地域としてもできる範囲で協力させていただく。

6. 第3回協議会日程について